

## 【万葉古代学研究彙報】（平成 28 年 1 月～平成 28 年 12 月）

### 平成 27 年度

- 1月15日 早稲田大学大学エクステンションセンター主催・宮崎県協力講座の「日向神話の魅力語る」（会場：早稲田大学エクステンションセンター中野校）において、井上さやか主任研究員（以下、井上研究員と略す）が「木花之佐久夜毘売と豊玉毘売」と題して講演。
- 1月20日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「笠金村の紀伊行幸歌（543～545番歌）」を講義。
- 1月24日 東京都中央区主催・奈良まほろば館協力講座の「記紀・万葉のふるさと奈良～日本書紀ことはじめ～」(会場：奈良まほろば館)において、井上研究員が「物語として楽しむ『日本書紀』」と題して講演。
- 1月24日 大和高田市文化財を考える会主催の研修会（会場：葛城コミュニティセンター）において、小倉久美子主任研究員（以下、小倉研究員と略す）が「『万葉集』入門講座」と題して講義。
- 1月30日 万葉文化館ボランティア研修において、大谷歩主任技師(以下、大谷技師と略す)が「万葉集の基礎知識」と題して講義。
- 1月31日 万葉文化館ボランティア研修において、井上研究員と小倉研究員が実地研修Ⅱの講師を務める。
- 2月6日 第63回万葉古代学講座において、小倉研究員が「殯宮を考える」と題して講演。
- 2月17日 講座「万葉集をよむ」で、大谷技師が「三香原離宮行幸歌（546～548番歌）」を講義。
- 2月18日 第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」（研究代表者：辰巳正明氏・國學院大學名誉教授）の第6回共同研究会を開催。
- 2月20日 第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特徴について—」の第11回共同研究会を開催。
- 2月21日 第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特徴について—」の第12回共同研究会を開催。
- 2月27日 大和国登美山鼻高靈山寺が主催する「靈山寺塾」（会場：靈山寺）において、井上研究員が「『万葉集』と仏教」と題して講演。
- 2月28日 第122回友の会講座の「友の会会員限定企画・奈良ホテルで「優雅な休日」を」において、井上研究員が引率講師を務める。
- 3月4日 みさと万葉文化講演会（会場：三郷町立図書館）において、小倉研究員が「龍田に行く人びと—神武天皇から藤原道長まで—」と題して講演。
- 3月13日 展覧会「奈良県立万葉文化館コレクション 日本画でみる万葉の世界」記念講演会(会場：尾道市立美術館)において、小倉研究員が「万葉歌でたどる大和から瀬戸内への旅」と題して講演。
- 3月16日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「筑紫への遷任の歌（549～558番歌）」を講義。
- 3月18日 フランス翻訳学会（SoFT）「学問的対話の方法としての翻訳学」第1回研究会「日本古典文学の翻訳学」（会場：京都繊維工業大学）において井上研究員が報告。
- 3月19日 「万葉集をよむ」特別講座として「万葉集ナナメよみ」を開催。瀧玲子氏（名古屋コミュニケーションアート専門学校専任講師）、白井光子氏（株式会社童夢実用書編集部部長）、関口柊子氏（株式会社童夢実用書編集部員）、井上研究員が講師を務める。

- フランス翻訳学会 (SoFT) 「学問的対話の方法としての翻訳学」第1回研究会「日本古典文学の翻訳学」(会場: 京都繊維工業大学) において小倉研究員が研究報告。
- 3月27日 奈良県立図書情報館主催の「図書館劇場X第6幕『日本書紀』事始め(6)」において、井上研究員が『万葉集』と『日本書紀』—「歴史」という名の文学作品—と題して講演。
- 3月27日 桜井市立図書館主催の図書館教養講座(会場: 桜井市立図書館)において、大谷技師が「大津皇子と大伴皇女—その死の表現—」と題して講義。
- 平成28年度
- 4月1日 井上さやかが指導研究員に着任。
- 4月2日 第123回友の会講座の「記紀万葉ウォーク19 多武峰街道から八講桜・高家へ」において、井上研究員が引率講師を務める。
- 4月12日 三重テレビ制作「ええじゃないか」の撮影に小倉研究員が対応(5月9日より順次放送)。
- 4月15日 みさと万葉学習会(会場: 三郷町立図書館)において、大谷技師が「桜児・縷児の死と〈由縁〉」と題して講義。
- 4月17日 王寺町観光協会主催の歴史リレー講座「大和の古都はじめ」(会場: 王寺町地域交流センター リーベルホール)において、井上研究員が「記紀万葉と聖徳太子」と題して講演。
- 4月20日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「大伴百代の恋(559～567番歌)」を講義。
- 4月22日 公益財団法人奈良婦人会館主催の「16まなびの登大路」(会場: 農業振興会館)において、井上研究員が「飛鳥に生きた女性たち—『万葉集』と女性天皇—」と題して講義。
- 4月24日 第64回万葉古代学講座において、寺川眞知夫氏(同志社女子大学名誉教授)が「万葉集の自然認識と表現」と題して講演。
- 5月1日 第29回万葉古代学東京講座において、大谷技師が「万葉集と懐風藻」と題して講演。第10回夕星万葉において、小倉研究員が『万葉集』巻1(28番歌)持統天皇代①について講義(いずれも会場は奈良まほろば館)。
- 5月5日 第65回万葉古代学講座において、上野誠氏(奈良大学教授)が「愚かなる人、憶良」と題して講演。
- 5月7日 第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」(研究代表者: 乾善彦氏・関西大学教授)の第1回共同研究会を開催。
- 5月8日 第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」(研究代表者: 辰巳正明氏・國學院大学名誉教授)の第7回共同研究会を開催。
- 5月12日 奈良まほろば館において、『マンガで楽しむ古典 万葉集』紹介パネル展～1300年の時を超えて心に響く珠玉の歌『万葉集』は面白い!～を実施(5月24日まで)。
- 5月13日 みさと万葉学習会(会場: 三郷町立図書館)において、小倉研究員が「万葉集から百人一首へ」と題して講義。
- 5月15日 奈良まほろば館主催の『マンガで楽しむ古典 万葉集』紹介パネル展～1300年の時を超えて心に響く珠玉の歌『万葉集』は面白い!～連携講座「万葉集ナナメよみ」において、瀧玲子氏(名古屋コミュニケーションアート専門学校専任講師)、白井光子氏(株式会社童夢実用書・一般書編集部本部長)、関口柊子氏(株式会社童夢実用書編集部)らとともに、井上研究員が講師を務める(午前・午後2回実施)。
- 5月18日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「大伴旅人の帰京(568～578番歌)」を講義。

- 5月21日 奈良ルネサンス記紀・万葉研究会主催の第6回「奈良ルネサンス記紀・万葉フォーラム」(会場：なら100年会館)において、井上研究員が「軽皇子と軽大娘皇女—『万葉集』と『古事記』『日本書紀』—」と題して講演。  
開館15周年記念として展示「万葉古代学の足跡」をハワイエにて開始(2017年3月8日まで)。  
一般展示室の「さまざまな万葉集」コーナーにおいて、展示「万葉集翻訳collection」を開始。
- 5月29日 第30回万葉古代学東京講座において、井上研究員が「万葉集と日本書紀」と題して講演。第11回夕星万葉において、大谷技師が「『万葉集』巻1(29～33番歌)持統天皇代②」について講義(いずれも会場は奈良まほろば館)。
- 6月4日 第125回友の会講座の「記紀万葉ウォーク20 平城宮から木津川へ」において、小倉研究員が引率講師を務める。
- 6月12日 第31回万葉古代学東京講座において、小倉研究員が「万葉集と古今和歌集」と題して講演。第12回夕星万葉において、井上研究員が「『万葉集』巻1(34～35番歌)持統天皇代③」について講義(いずれも会場は奈良まほろば館)。
- 6月15日 講座「万葉集をよむ」で、大谷技師が「大伴家の女性たちの歌(579～586番歌)」を講義。
- 6月25日 第66回万葉古代学講座において、松尾光氏(早稲田大学非常勤講師)が「孝謙女帝の帝権感覚」と題して講演。
- 6月30日 一般社団法人不識庵主催の青天白雲塾フィールドワークにおいて、井上研究員が館内講座の講師を務める。
- 7月1日 毎日新聞社奈良支局の取材に小倉研究員・大谷技師が対応(7月27日掲載)。
- 7月10日 第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」(研究代表者：辰巳正明氏・國學院大學名誉教授)の第8回共同研究会を開催。
- 7月16日 張逸農奈良県海外技術研修員(以下、張研修員と略す)が着任。
- 7月17日 第67回万葉古代学講座において、菅谷文則氏(奈良県立橿原考古学研究所所長)が「持統天皇と役行者」と題して講演。
- 7月20日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「笠女郎と大伴家持(587～608番歌)」を講義。(特活)奈良国際協力サポーター(Naicos)主催の「万葉集プロジェクト勉強会～英語でよむ万葉集～Study Session 1」において、井上研究員が館内講座の講師を務める。
- 7月26日 夏休みこども万葉教室で「万葉のムラサキ染め」を実施。小倉研究員が講師を務める。
- 7月30日 桜井市立図書館主催の図書館教養講座(会場：桜井市立図書館)において、大谷技師が「万葉びとのこころと自然—桜井市万葉歌碑をめぐる—」と題して講義。
- 8月4日 奈良県学校図書館協議会主催の近畿学校図書館夏季セミナー奈良大会の分散会(会場：奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校)において、井上研究員が「記紀・万葉の楽しみ方」と題して講演。  
開館15周年記念展示「万葉古代学の足跡」(ハワイエ)を展示替え。
- 8月8日 紀伊半島知事会議において、井上研究員が館内案内。
- 8月9日 展示「万葉集翻訳collection」(一般展示室)を展示替え。
- 8月16日 第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」研究代表者：乾善彦・関西大学教授)にかかる万葉文化館蔵古典籍の調査撮影(18日まで)。

- 8月17日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「家持をめぐる女性の歌（609～618番歌）」を講義。
- 8月20日 第68回万葉古代学講座において、田辺征夫氏（奈良県立大学特任教授／公益財団法人大阪府文化財センター理事長）が「発掘からみえる悲劇の宰相長屋王」と題して講演。
- 8月21日 奈良女子大学古代学学術研究センターと共催で、第12回（2016年度）若手研究者支援プログラム・奈良県立万葉文化館第15回夏期セミナー「漢字文化の受容 東アジア文化圏からみる手紙の表現と形式」を開催。万葉文化館企画展示室において、公開講演会を実施。山本孝子氏（京都大学非常勤講師）が「手紙の作法―書儀の実践・応用」と題して、河内利治氏（大東文化大学教授）が「書の筆法から見る木簡・尺牘の世界」と題してそれぞれ講演。
- 8月23日 にぎわいフェスタ夏「巨大迷路に挑戦しよう！」（8/24～31実施）において、小学生向けの万葉クイズを作成、提供。
- 8月26日 飛鳥冠位叙任試験問題作成委員会（会場：古都飛鳥保存財団）に井上研究員が出席。
- 8月27日 桜井市立図書館主催の図書館教養講座（会場：桜井市立図書館）において、井上研究員が「泊瀬の歌碑と『万葉集』」と題して講義。
- 8月30日 第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」（研究代表者：乾善彦氏・関西大学教授）の第2回共同研究会を開催。
- 8月31日 第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」（研究代表者：乾善彦氏・関西大学教授）の第3回共同研究会を開催。
- 9月2日 中央大学岩下武彦教授一行が来館し、井上研究員が館内を案内。
- 9月6日 千葉大学兼岡理恵准教授一行が来館し、井上研究員が対応。  
香川高等専門学校東城敏毅教授一行が来館し、大谷技師が館内を案内。
- 9月8日 二松学舎大学塩沢一平教授一行が来館し、井上研究員が館内を案内。
- 9月9日 京都大学の国際交流科目の一環で中国から昆明理工大学一行が来館し、大谷技師が館内を案内、張研修員が通訳を務めた。
- 9月10日 桜井市立図書館主催の図書館教養講座（会場：桜井市立図書館）において、小倉研究員が「図書館周辺の歌碑」と題して講義。
- 9月18日 第69回万葉古代学講座において、坂本信幸氏（高岡市万葉歴史館館長／奈良女子大学名誉教授）が「越中万葉の文化的意義」と題して講演。
- 9月21日 万葉集を楽しむ会特別講座（会場：香芝市旭ヶ丘ニュータウン自治会館）において、小倉研究員が「『万葉集』基礎知識と万葉歌留多」と題して講義。  
講座「万葉集をよむ」で、大谷技師が「大伴坂上郎女の怨恨の歌（619～620番歌）」を講義。
- 9月25日 開館15周年記念展示「万葉古代学の足跡」（ホワイエ）を展示替え。
- 9月26日 飛鳥冠位叙任試験問題作成委員会（会場：古都飛鳥保存財団）に井上研究員が出席。
- 10月2日 第13回万葉古代学公開シンポジウム「万葉集翻訳の夜明け」を開催。第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究―翻訳にあらわれる日本文学の特徴について―」（平成26・27年度実施。研究代表者・井上研究員）の成果報告として実施。稲村和子万葉文化館長による開催挨拶の後、「総論―翻訳にあらわれる日本文学の特徴」井上研究員、「『万葉集』の早期ドイツ語訳」加藤耕義氏（学習院大学外国語教育研究センター教授）、「F・V・ディキンズがとらえた『万葉集』の詩学」ジェイスン・ウェッブ氏（南カリフォルニア大学准教授）、「中国における『万

- 葉集『古事記』の翻訳」曹咏梅氏（國學院大學・神奈川大学非常勤講師）、「19世紀の翻訳状況」小倉研究員、「底本となった『万葉集』」大谷技師の報告ののち、上記メンバーによるディスカッションをおこなった。
- 10月5日 特別展「古代への憧憬—近代に花開いた古典の美—」の集荷作業（場所：滋賀県東近江市役所）に小倉研究員が立ち会う。
- 10月11日 特別展「古代への憧憬—近代に花開いた古典の美—」の集荷作業（場所：天理大学附属天理参考館）に小倉研究員が立ち会う。
- 10月13日 特別展「古代への憧憬—近代に花開いた古典の美—」の展示作業に、井上研究員、小倉研究員、大谷技師が参加。  
展示「万葉集翻訳 collection」（一般展示室）を展示替え。
- 10月19日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「佐伯氏の人びと（621～630番歌）」を講義。
- 10月23日 開館15周年記念として、万葉の日記念フォーラム・対談「日本の美を語る—文学と絵画—」（後援：朝日新聞社）を開催。彬子女王殿下（京都産業大学日本文化研究所研究員）と中西進氏（万葉文化館名誉館長）とによる対談で、大西若人氏（朝日新聞編集委員）をコーディネーターとして実施した。
- 10月27日 山の辺文化会議主催の勉強会において、井上研究員が館内講座の講師を務める。
- 10月29日 「にぎわいフェスタ万葉 秋」の「平成万葉市」において、小倉研究員が昔あそび（折り紙）の指導を担当。
- 10月30日 第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」（研究代表者：辰巳正明氏・國學院大學名誉教授）の第9回共同研究会を開催。  
美夫君志会主催の万葉ウォークにおいて、井上研究員が館内及び明日香村内を案内。  
「にぎわいフェスタ万葉 秋」の「平成万葉市」において、小倉研究員が昔あそび（折り紙）の指導を担当。
- 11月3日 第129回友の会講座の「記紀万葉ウォーク② 三輪の山すそを巡る」において、大谷技師が引率講師を務める。
- 11月6日 第71回万葉古代学講座において、千田稔氏（奈良県立図書情報館館長）が「飛鳥の秋、長安の秋」と題して講演。
- 11月8日 研究顧問を務める寺川真知夫氏（同志社女子大学名誉教授）、上野誠氏（奈良大学教授）、松尾光（中央大学・早稲田大学非常勤講師）を招き、井上研究員、小倉研究員、大谷技師による研究報告会を実施。
- 11月9日 なら食と農の魅力創造国際大学校主催の「奈良学入門」において、井上研究員が「万葉集の世界」と題して講演。  
滋賀県東近江市市辺地区まちづくり協議会一行が来館し、小倉研究員が特別展を案内。
- 11月13日 三郷町・三郷町教育委員会・みさと万葉プロジェクト主催の「三郷町制施行50周年記念シンポジウム 万葉歌が語る龍田」において、井上研究員が講師を務める。
- 11月16日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「湯原王の恋（631～642番歌）」を講義。
- 11月19日 NPO法人古代ヤマトの郷づくり塾主催の「古代ヤマトの郷魅力発見セミナー&ウォーク 影姫伝説—和爾の里を辿る—」において、井上研究員がセミナー講師を務める。  
城陽市立東部コミュニティセンター主催の図書室文学講座（会場：城陽市立東部コミュニティセンター）において、大谷技師が「山城国の歌文化」と題して講座。
- 11月26日 万葉文化館ボランティア・スキルアップ研修において、大谷技師が「歌垣の世界—

- 掛歌文化からみる万葉集一」と題して講義。
- 12月2日 日本遺産「飛鳥」魅力発信事業『日本国創生のとき～飛鳥を翔(かけ)た女性たち～』の撮影に協力。
- 12月8日 BSフジ「大人が知らない!! 日本史の新常識 なぜ変わった? 教科書ミステリー」の撮影に井上研究員が対応(2017年1月2日放送)。
- 12月9日 館蔵古典籍等を燻蒸(14日まで)。
- 12月10日 田原本町観光協会主催の記紀・万葉歴史講座(会場:田原本町町民ホール)において、井上研究員が「田原本と記紀万葉」と題して講演。
- 12月13日 奈良県立大学主催のシニアカレッジ特別講義(会場:桜井市まほろばセンター)において、大谷技師が「愚なる娘子一『万葉集』巻十六『児部女王の嗤へる歌』をめぐって」と題して講義。
- 12月15日 開館15周年記念展示「万葉古代学の足跡」(ホワイエ)を展示替え。  
展示「万葉集翻訳 collection」(一般展示室)を展示替え。  
古都飛鳥保存財団主催・読売新聞共催の「飛鳥学冠位叙任試験」問題作成委員会(会場:古都飛鳥保存財団)に、井上研究員が出席。
- 12月17日 第72回万葉古代学講座において、湯山賢一氏(奈良国立博物館長)が「古代の紙」と題して講演。
- 12月20日 奈良芸術短期大学主催の明日香学講座(会場:奈良芸術短期大学)において、井上研究員が「明日香(飛鳥)と万葉」と題して講義。
- 12月21日 講座「万葉集をよむ」で、大谷技師が「紀女郎の怨恨の歌(643～650番歌)」を講義。
- 12月23日 宇陀市主催のうだんぎ!(会場:旧旅籠あぶらや)において、井上研究員が「万葉よもやま話」と題して講演。
- 12月25日 第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」(研究代表者:辰巳正明氏・國學院大學名誉教授)の第10回共同研究会を開催。
- 12月27日 奈良芸術短期大学主催の明日香学講座(会場:奈良芸術短期大学)において、井上研究員が「明日香(飛鳥)と万葉」と題して講義。

◆専任研究員のおもな業績(平成28年1月～平成28年12月)

井上 さやか

[書籍]

- 『マンガで楽しむ古典 万葉集』ナツメ社、平成28年3月(監修・執筆)
- 『飛鳥むかしむかし 国づくり編』朝日新聞出版、平成28年10月(分担執筆)

[研究論文]

- 『『日本書紀』における人物造形―推古天皇代の物語性―』(『万葉古代学研究年報』第14号)、平成28年3月

[研究発表]

- 「軽太子と衣通王」(美夫君志会5月例会)平成28年5月
- 「古代東アジアにおける苑池と詩歌」(第13回東アジア比較文化国際会議・韓国大会)平成28年8月

[書評・評論など]

- 「歌枕としての「明日香川」」(『まほら』87号)平成28年4月

[その他]

- 「はじめての万葉集 vol.22 平城京の西の市」(「県民だより奈良」2016年2月号〔第356号〕、奈良県広報公聴課)、平成28年2月
- 「おすすめ万葉歌」(「よろずは」平成28年3月)
- 「はじめての万葉集 vol.27 夏はウナギ」(「県民だより奈良」2016年7月号〔第361号〕、奈良県広報公聴課)、平成28年7月
- 「おすすめ万葉歌」(「よろずは」平成28年6月)
- 「万葉歌の魅力をさぐる(37) 明日香川での<sup>みそぎ</sup>潔身」(「天飛ぶ」45号、万葉文化館友の会)、平成28年7月
- 「はじめての万葉集 vol.30 秋の香り」(「県民だより奈良」2016年10月号〔第364号〕、奈良県広報公聴課)、平成28年10月
- 「おすすめ万葉歌」(「よろずは」平成28年9月)
- 「おすすめ万葉歌」(「よろずは」平成28年12月)

小倉 久美子

[研究論文]

- 「殞の歴史的展開—七世紀を中心に—」(「万葉古代学研究年報」第14号)、平成28年3月
- [書評・評論など]
- 「伏見桃山陵の埴輪にみる古代への憧憬」(奈良県立万葉文化館特別展「古代への憧憬—近代に花開いた古典の美—」図録)平成28年10月

[その他]

- 「はじめての万葉集 vol.21 吉野宮への讃歌」(「県民だより奈良」2016年1月号〔第355号〕、奈良県広報公聴課)、平成28年1月
- 「歌碑めぐり15」(「よろずは」平成28年1月号)
- 「はじめての万葉集 vol.24 急峻な生駒山越え」(「県民だより奈良」2016年4月号〔第358号〕、奈良県広報公聴課)、平成28年4月
- 「歌碑めぐり16」(「よろずは」平成28年4月号)
- 「はじめての万葉集 vol.25 吉野のアユ」(「県民だより奈良」2016年5月号〔第359号〕、奈良県広報公聴課)、平成28年5月
- 「歌碑めぐり17」(「よろずは」平成28年7月号)
- 「『万葉集』の稲作」(「万葉図書・情報室だより」45号)平成28年7月
- 「はじめての万葉集 vol.28 葛はふ夏」(「県民だより奈良」2016年8月号〔第362号〕、奈良県広報公聴課)、平成28年8月
- 「歌碑めぐり18」(「よろずは」平成28年10月号)
- 「はじめての万葉集 vol.31 酒造りの歌」(「県民だより奈良」2016年11月号〔第365号〕、奈良県広報公聴課)、平成28年11月
- 「万葉歌の魅力をさぐる(38) 石田の社に帰って」(「天飛ぶ」46号、万葉文化館友の会)、平成28年12月

大谷 歩

[著書]

- 『万葉集の恋と語りの文芸史』笠間書院、平成28年2月

[研究論文]

○「月の船－漢語と和語の交流の場をめぐって－」（「東アジア文化研究」第1号）平成28年1月

○「古代天皇行幸の理想的性格の位置付け－持統天皇の伊勢行幸をめぐって－」（「万葉古代学研究年報」第14号）平成28年3月

[研究発表]

○「元興寺の僧の歌」（第13回東アジア比較文化国際会議・韓国大会）平成28年8月

[その他]

○「万葉歌と季節の植物2」（「よろずは」平成28年2月）

○「はじめての万葉集 vol.23 因可の池の物思い」（「県民だより奈良」2016年3月号〔第357号〕、奈良県広報公聴課）、平成28年3月

○「万葉歌の魅力をさぐる（36）家持の聞いた〈音〉」（「天飛ぶ」44号、万葉文化館友の会）、平成28年3月

○「万葉歌と季節の植物3」（「よろずは」平成28年5月）

○「はじめての万葉集 vol.26 鯛が食べたい!」（「県民だより奈良」2016年6月号〔第360号〕、奈良県広報公聴課）、平成28年6月

○「万葉歌と季節の植物4」（「よろずは」平成28年8月）

○「はじめての万葉集 vol.29 秋の味覚は…」（「県民だより奈良」2016年9月号〔第363号〕、奈良県広報公聴課）、平成28年9月

○「万葉歌と季節の植物5」（「よろずは」平成28年11月）

○「はじめての万葉集 vol.32 家なるものは…芋？妹?」（「県民だより奈良」2016年12月号〔第366号〕、奈良県広報公聴課）、平成28年12月



## 万葉文化館 顧問・客員研究員・研究協力員等一覧

(平成 29 年 1 月現在)

### (1) 名誉館長

中西 進 (富山県立高志の国文学館館長)

### (2) 研究顧問・名誉研究員

寺川真知夫 (元万葉古代学研究所長、同志社女子大学名誉教授)

上野 誠 (元万葉古代学研究所副所長、奈良大学教授)

松尾 光 (元万葉古代学研究所副所長、中央大学・早稲田大学非常勤講師)

### (3) 客員研究員

坂本 信幸 (高岡市万葉歴史館館長)

菅谷 文則 (奈良県立橿原考古学研究所長)

千田 稔 (奈良県立図書情報館長)

辰巳 和弘 (元同志社大学教授)

田辺 征夫 (奈良県立大学特任教授、公益財団法人大阪府文化財センター理事長)

湯山 賢一 (奈良国立博物館長)

和田 萃 (京都教育大学名誉教授)

影山 尚之 (武庫川女子大学教授)

### (4) 委託共同研究員

辰巳 正明 (國學院大學名誉教授)

山口 敦史 (大東文化大学教授)

鈴木 道代 (國學院大學助教)

乾 善彦 (関西大学教授)

田中 大士 (日本女子大学教授)

樋口百合子 (奈良女子大学古代学学術研究センター協力研究員)

城崎 陽子 (國學院大學兼任講師)

新沢 典子 (鶴見大学准教授)

景井 詳雅 (洛西中学・高等学校教諭)

大石真由香 (日本学術振興会特別研究員 PD、奈良女子大学非常勤講師)

池原 陽斉 (東洋大学非常勤講師)

### (5) 研究協力員

松田 信彦 (元万葉古代学研究所主任研究員、鹿児島工業高等専門学校教授)

西地 貴子 (元万葉古代学研究所研究員、福岡女学院大学非常勤講師)

大館 真晴 (元万葉古代学研究所主任研究員、宮崎県立看護大学教授)

吉原 啓 (元万葉古代学研究所研究員、大田原市なす風土記の丘湯津上資料館学芸員)

曹 咏梅 (元万葉古代学研究所主任研究員、國學院大學・神奈川大学非常勤講師)

垣見 修司 (元万葉古代学研究所職員、同志社大学准教授)

竹本 晃 (元万葉文化館主任研究員、大阪大谷大学専任講師)